

令和5年度 第1回 海老名市にぎわい振興審議会 会議録

日時等	令和5年6月6日(火) 10:00~12:00 政策審議室		
議題	(1) 海老名市にぎわい振興事業補助金について (2) 「えびな元気にぎわい振興計画」の事業評価について (3) 「えびな元気にぎわい振興計画(第3期)」(案)について (4) 令和5年度にぎわい振興事業(案)について		
出席委員	羽田会長、三田副会長、鳩貝委員、中原委員、門脇委員、長委員、伊藤委員、勝田委員、半澤委員 計9名		
公開の可否	公開	傍聴者数	0名
事務局・説明者等	経済環境部長 金指、 経済環境部次長 吉沢、 商工課長 山田、商工課長補佐 後藤 にぎわい振興係 今野、増田、山口		

1 開会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

4 議題

議題1 海老名市にぎわい振興事業補助金について

■海老名市情報公開条例第7条第4号に該当するため、非公開情報

議題2 「えびな元気にぎわい振興計画」の事業評価について

■ 事務局より、「えびな元気にぎわい振興計画」の事業評価について説明
議題2⇒意見なし、承認

議題3 「えびな元気にぎわい振興計画(第3期)」(案)について

■ 事務局より、「えびな元気にぎわい振興計画(第3期)」(案)について説明
議題3⇒意見なし、承認

議題4 「令和5年度にぎわい振興事業」(案)について

■ 事務局より、令和5年度にぎわい振興事業(案)について説明
・令和5年度にぎわい振興事業について⇒意見なし
・海老名にぎわいスタンプラリー事業について

- 委員 デジタルスタンプラリーとなると、既存のアプリを導入するのもコストがかかる。このためにアプリをつくるのは難しい。周知の方法も検討していかなければならない。毎年やってもまだ知らない人も多いとなるとどうしたらよいのか悩ましい。お店が告示するのも、スペースを確保するなど難しい点がある。その部分は検討したほうが良い。文章が分かりにくいとのことだったが、どのような文言か。
- 事務局 「商品1個に買い物につき、1枚の台紙にスタンプが押せる」の部分である。商品を2個もって2人で並んだら、それぞれに1個ずつスタンプが押せないという風に勘違いされてしまい、並び直してくださいと言われお客様ともめてしまった事例がいくつかあった。書き方が良くなかったのではと思っている。
- 委員 お店側としては、そのくらいいいのではないかと思う。せっかくお子様を連れてスタンプラリーに参加しているのに並び直しなさいという対応は、お店側の対応次第なのではないか。柔らかい気持ちでスタンプラリーに参加して欲しいと感じる。楽しみでやっているのだから、そのくらいは多めに見てあげてもいいのではないかと思う。
- 事務局 前回のスタンプラリーで、1個の商品で4人家族全員分のスタンプを押してほしいという事例があったので、今回この文言をいれた経緯がある。
- 委員 スタンプラリーに参加されるお店に、その時点で多めに見てあげてくださいなど伝えるべきだと思う。商工会議所にも参加されるお店にお話してもらうのはどうか。
- 事務局 お店側はルールに則って行っていただいていたため、表現に気を付けなければいけないと感じた。
- 委員 人によって表現のとらえ方はそれぞれあるので、台紙も改善されているので、気にすることはないのではないかと思う。
- 委員 家族1枚までにするのはどうか。兄弟で当たらないことが起きると喧嘩もおきてしまう。そのようなこともあり得るのだろうか。
- 事務局 前回までは全員が当たっていたが、今回は賞品が足りなくなってしまう、全員にいきわたらなかったが、家族の誰かが必ず当たっている。
- 委員 全部のことを対応するのは難しい。
- 委員 お店独自でスタンプラリーを実施している方々は厳しくやっていると思うがその感覚でこのスタンプラリーをやられてしまうと、勧誘が目的になってしまう。にぎわいスタンプラリーの目的を汲み取っていただきたいと願う。

議題4⇒承認

5 閉会挨拶